

# 第 25 回東北地区国立高等専門学校技術職員研修 参加報告

伊藤 眞子  
佐藤 大輔  
佐藤 真人

## 1. 開催の目的

東北地区の国立高等専門学校に勤務する技術職員に対して、その職務遂行に必要な一般知識及び新たな専門的知識、技術等を習得させることにより、技術職員としての資質の向上を図ることを目的とする。

## 2. 日時

2023 年 8 月 31 日～9 月 1 日 2 日間

## 3. 会場

一関工業高等専門学校 メディアセンター

## 4. 主催

一関工業高等専門学校

## 5. 研修日程

一日目

12:30～13:00 受付

13:00～13:10 写真撮影

13:10～15:00 技術発表と討議 1

15:15～17:00 技術発表と討議 2

二日目

9:00～10:00 基調講演

「高専教育を支える技術職員のイノベーション活動」

講師 一関高専 福村卓也 教授

10:20～12:00 実技研修 1 キットカー PIUS の分解・組み立て実習①

技術長会議

13:00～14:50 実技研修 2 キットカー PIUS の分解・組み立て実習②

15:00～15:15 閉講式

## 6. 受講対象者

東北地区の国立高等専門学校に勤務する技術職員(教育研究支援組織に所属し、教育・研究の技術支援等に従事する職員)

## 7. 発表者

各校 1～2 名(聴講のみの参加は人数制限なし)

## 8. 各日程の詳細

### ・技術発表

研究発表や公開講座や業務の取り組みなど様々あった。本校からは佐藤大輔が「形状記憶ゲルを用いた薄板切削加工時の振動抑制法の検討」のタイトルで発表を行った。たくさんの意見を頂き今後の研究支援に役立てることが出来ると思う。他高専の発表では資格取得や技能グランプリ出場に向けた取り組みや、衛生管理者としての取り組みなど鶴岡では行っていない事例を聞くことが出来た。

### ・実技研修

実技研修は一関高専の 1 年生が行う「ものづくり実験実習 E」を体験するものだった。概要はものづくりに必須な考え方を身につけるために電気自動車を題材とした実験実習を総合的に行う。また幅広い視点を持ちながらチーム作業を行うことで、コミュニケーションなどの社会人基礎力を身につけるものだった。



## 9. おわりに

4 年ぶりの対面形式での開催になったことにより活発な意見交換をすることが出来た。それにより親睦を深めることができ有意義な研修会であった。